

不登校についての経験（保護者用）

不登校の時期：小学校三年生2学期から3学期

不登校の期間：半年

- 1 不登校になったきっかけを教えてください。
いじめ
- 2 学校に行かないときは、子供はどのように過ごしていましたか。
—
- 3 その時の気持ちや考えていたことを教えてください。
元気がなく笑顔も見せず、静かに過ごしていました。どうやってこの子の人生を楽しく明るくしてやろうか、と考えてました。
- 4 子供に対し、どのように関わったり、声掛けをしたりしていたか教えてください。
嫌な学校には行かなくて良いんだよ、と繰り返し伝えることで落ち着きを取り戻した気がします。
- 5 学校に行かなくなった当初から今に至るまで、子供や保護者の変化として感じたことを教えてください。
初期は、「当然に学校は通うもの」と思って、それを押し付けて苦しい思いをさせたかもしれません。今では「この多様性の世の中、いろんな生き方があって良いよね」と思えるようになりました。
本人の気持ちに寄り添うことで、家庭に笑顔が戻りました。
- 6 子供にしてよかったこと、やらなければよかったことを教えてください。
価値観の押し付けはやらなければ良かったな、と思います。自分が育った時代とは全く環境が違うので。
- 7 不安を感じたとき、どのようなことをしていたか、教えてください。
いま目の前にいる我が子にとっていま一番なにが大事なのか、自問自答するようにしました
大事なことは、生きててくれること、元気でいてくれること、楽しく毎日を過ごしてくれること、生きる力をつけること。
そう考えると「あ、必ずしも学校行かなくても大丈夫だ」と思えるようになりました。
- 8 学校に行かなかったことについて、今感じていることや考えていることを教えてください。
後悔はありません。

- 9 学校に行っていない人や行かない人に対してのメッセージをお願いします。
ヨシタケシンスケさんの絵本、「にげてさがして」はおすすめです。